

「障がい者スポーツ指導員」

行政が常に心掛けるべきは「社会的な弱者に寄り添う事」であると私は考えています。高齢者や子ども、そして障がいのある方に寄り添えない行政に何の魅力も見出せません。しかし、大変お恥ずかしい話ですが、私自身がこれまで、障がいのある方と積極的に関わらせて頂く機会がありませんでした。そんな状態で福祉を語る事は出来ません。二年前「障がい者スポーツ指導員」の資格を習得し、特に子ども達へのスポーツ教室のお手伝いを行っております。炎天下の中、体力的には悲鳴を上げておりましたが、教室終了後に誇らしげに「修了書」を見せてくれる子ども達の笑顔ですべてが報われる思いです。



障がい者スポーツ指導員として。



「市主催事業への積極的な参加」

前回の選挙の際、私は「社会教育の一層の充実」を訴えました。今更私が言うまでも無く「教育は国家百年の計」であり、人材を育てる「教育」は今も昔も変わりなく大変重要なものです。しかしそれは、学校と言う教育現場にすべて任せておけば良い、と言うものではありません。社会や、そして何より家庭での教育の在り方が、これから最も重要視されてくると考えています。春日市ではこれを支援する「かすが家庭教育学級」と言う、就学児童の保護者のための素晴らしいプログラムがあります。これに出来るだけ多く参加し、私自身も多くの事を学ばせて頂きました。また私なりの提言も一般質問等で行いながら「家庭教育」なら春日市を目指していきます。



家庭教育学級の風景。



「コミュニティースクールへの参加」

現在では年間100以上の日本各地の自治体が行政視察に訪れる程、春日市の名を一躍全国的にした政策に「コミュニティースクール」があります。保護者の方は勿論、多くの地域の方が学校運営に携わり、また様々な行事にお力添えを頂いております。私自身はもう子供も大きく直接学校に関わる機会こそ無くなってしまいましたが、「北っぴい祭り」をはじめとした力仕事が必要な際には「おやじの会」の仲間に加えて頂きお手伝いをさせて頂いております。「子供の成長を願う親の気持ち」の暖かさにいつも元気を頂いております。



北小で子ども達とあやとり遊び。

「広報活動」議員が普段こういった活動をしているかを、皆様に知って頂くことは大変重要な事です。

私は決して完璧ではありませんが、自らの活動状況や日々思う事をインターネット上ではありますが頻りに公開いたしております。

ホームページ…活動状況を頻りにすれば二日に一度、年間約200回の更新を行っております。

ブログ…内容自体は、政治の世界とは関係ない、むしろ馬鹿な話の方が多いのですが、私自身の為人を知って貰おうと4年間毎日欠かさず更新を行い、現在1500本以上、文字数にして原稿用紙7500枚程度の記事を書いております。

この他フェイスブックやツイッターも日々更新に努めています。



▲公式ホームページ



▲公式ブログ



▲フェイスブック



▲ツイッター

議員「さかき 朋之」…日々発信中。

●公式ホームページ www.sakaki-t.com

●公式ブログ <http://profile.ameba.jp/sakaki-tomoyuki/> 

●フェイスブック <https://www.facebook.com/tsakaki> 

●ツイッター <https://twitter.com/sakakitomoyuki> 

春日市

後援会に是非ご参加
下さい!
榊 朋之
後援会事務所(本部)
福岡県春日市桜ヶ丘6丁目55セリユー桜ヶ丘602
Tel.092-581-1200
Fax.092-581-1202
mail:info@sakaki-t.com